

全木連時報

5月25日(日曜日)
(第602号) 毎月25日発行
平成20年(2008年)

発行所
社団法人 **全国木材組合連合会**
代表者 後藤 隆一
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL <http://www.zenmoku.jp>



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

『全木連時報』の購読料は年会費に含まれています。

全木連・全木協連・木退共通常総会

全木連会長に並木氏、全木協連会長に吉条氏を選任



おめでとございます

平成二十年春叙勲者

- 旭日中綬章 庄司橙太郎(東京) 旭日双光章 柴原 秀満(長野)
- 旭日小綬章 上地 宏保(愛知) 旭日双光章 長沼 文雄(奈良)
- 旭日小綬章 樋口 浩良(香川) 以上木材産業振興功労者関係
- 旭日双光章 市川 精一(徳島) (敬称略)

第六十四回全木連通常総会、第四十八回全木協連通常総会、第二十六回木退共通常総会が五月八日、東京・港区の虎ノ門パストラルを会場に、全国から会員多数が出席して開催された。役員改選では、本総会をもつて退任する庄司全木連会長の後任に並木瑛夫全木協連会長を、全木協連会長に吉条良明副会長を選任した。総会には林野庁の井出道雄長官をはじめ関係幹部、国土交通省木造住宅振興室長、農林水産省、また、林業関係団体幹部が来賓として出席し、華やかさを盛り上げた。総会の議事は順調に進み、所定の議案を滞りなく審議のうえ承認・決定して閉会した。

全木連通常総会

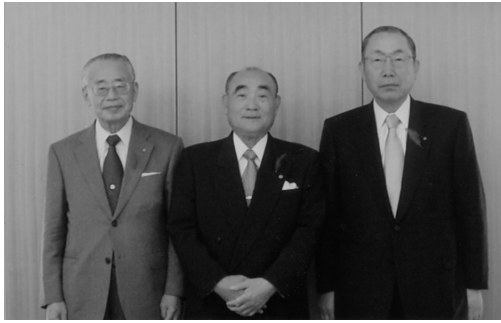
全木連の総会は、午後一時三十分から開会。会議に先立ち、今春の叙勲者を後藤副会長が報告(別掲)。全員が拍手で受章を称えた。開会のことは山根副会長が述べたあと、庄司会長が別掲の挨拶を行った。続いて、来賓の井出林野庁長官と国土交通省の越海興一木造住宅振興室長から祝辞を受け、司会から出席の来賓を紹介した。議事は、庄司会長が議長となつて、進行。

第一号議案の平成十九年度事業報告承認の件については、事務局から説明のうえ、原案のとおり承認。第二号議案の平成十九年度収支決算承認の件についても、事務局説明のうえ、名倉敬世監事が監事を代表して監査報告し、原案のとおり承認された。

次いで、事務局より報告事項のうち全国木材産業振興大会のあり方検討の結果について報告。今年第四十三回全国木材産業振興大会の開催予定について、開催地の大石九州支部長が紹介し、多数の

目次

- 一面 全木連総会 庄司会長は勇退 並木新会長を選任
- 二面 全木協連は吉条新会長を選任 木退共総会 並木新会長就任あいさつ 全木連ほか新役員
- 三面 全木連会長総会挨拶
- 四面 景況調査



総会で交代の新旧会長。吉条全木協連新会長(右側)、庄司全木連前会長(中央)、並木全木連新会長(左側)

全木協連 通常総会

参加を呼びかけた。任期満了による役員改選では、庄司会長が勇退し、新会長には並木全木協連会長が選任された。庄司前会長は最高顧問に、また、同じく退任

全木協連の通常総会は、午後三時二十分に開会した。会議は、開会の辞を向河原副会長が述べて始まり、まず、並木会長が概要次のとおり挨拶した。「住宅着工減や米国経済の影響などから大変厳しい状況にある。現在の着工ペースでは業界は深刻である。全木連との連携がますます重要である。十九年度事業につ

する後藤副会長は顧問に推戴された。庄司前会長から退任の挨拶が、並木会長から就任の挨拶(別掲)があった。最後に、小野田副会長が閉会のことばを述べて閉会した。

次いで、来賓の林野庁島田林政部長から祝辞が述べられた。議事は、並木会長が議長となり

並木全木連会長 就任あいさつ

会員のご推挙により全木連会長という大役をおおせつかりました。私にとって身に余る職責でありませんが、多くの皆様方のご協力、ご叱咤をいただきながらこの重責を担うべく最善の努力をしていきたいと思います。

私の全木連会長としての仕事は、まずは庄司前会長の路線をしつかりと受け止め、木材業界の諸課題の解決に向けて前進していくことであると思っています。皆様、業界のお役に立つべく、また全木連組織の発展のために微力ではありませんが、一生懸命に取り組んでまいりますので、皆様方のご支援ご協力を切にお願いする次第です。以上、覚悟の一端をご披露申し上げます。

木退共通 通常総会

木退共の総会は、全木連総会と併行して行われた。議案の 平成十九年度事業報告承認の件 平成十九年度収支決算承認の件は、事務局説明の後、監事の監査報告を事務局が代読のうえ、承認した。平成二十年事業計画決定の件については、事務局より説明の

全木連、全木協連新役員体制

- 【全木連】
 - 会長 並木 瑛夫(千葉)
 - 副会長・北海道支部長 小笠原 弘(北海道)
 - 副会長・東北支部長 小野田富男(岩手)
 - 副会長・東京支部長 吉条 良明(東京)
 - 副会長・東海支部長 上地 宏保(愛知)
 - 副会長・近畿支部長 越井 健(大阪)
 - 副会長・中国支部長 山根 恒弘(広島)
 - 副会長・九州支部長 大石駿四郎(熊本)
 - 副会長 田中 隆行(業種別)
 - 副会長・専務理事 尾園 春雄(事務局)
 - 常務理事 藤原 敬(事務局)
- 【全木協連】
 - 会長 吉条 良明(東京)
 - 副会長 小笠原 弘(北海道)
 - 副会長 高橋 義宣(宮城)
 - 副会長 坂東正一郎(埼玉)
 - 副会長 小池 善英(富山)
 - 副会長 越井 健(大阪)
 - 副会長 俊成 薫(愛媛)
 - 副会長 横田欽一郎(宮崎)
 - 副会長 尾園 春雄(事務局)
 - 副会長 藤原 敬(事務局)
- 【木退共】
 - 会長 並木 瑛夫(全木連)
 - 副会長 小野田富男(岩手)
 - 副会長 横田欽一郎(宮崎)
 - 副会長 尾園 春雄(全木連)
 - 常務理事 藤原 敬(全木連)

総会での 庄司全木連会長挨拶



会議の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、第六十四回全木連通常総会・理事会並びに第三十六回木退共総会・理事会を開催いたしましたところ、全国各地から、はるばるご参集いただき誠に有難うございます。また、日頃から幅広くご指導いただいております井出林野庁長官、国土交通省の越海木造住宅振興室長はじめご来賓の皆様には、ご多用の中ご臨席を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、わが国の経済は、緩やかな経済成長が続いてきていたが、このところ米国の景気後退懸念や金融市場の変動、原油価格の高騰などから、景気の下振れリスクの高まりなど先行きが懸念されています。木材産業につきましても、平成十九年の新設住宅着工戸数が改正基準法の施行等により前年の二割減少、このうち木造住宅は一割減少となり、これに伴い木材需要量が大きく減少するなど、

大変に厳しい状況になりました。我々木材業界としましては、住宅着工戸数の増などによる早期の業況回復を念願していますが、景気動向の先行きに心配がないよう、国の確かな経済・金融対策等を強く期待するものであります。

全木連は昨年八月に「木材・木造住宅対策本部」を設置し、建築確認の円滑化や業界の経営安定化に係る対策などに取組んできています。今後も、引き続き「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」など住宅建築に係る諸制度の施行、見直し検討が予定されており、また安全・安心で良質な住宅ストック・居住環境の形成などの施策も重点的に展開されています。全木連としては、これらの施策等を注視しつつ皆様方のご意見を伺いながら適切な対応に取組んでいきたいと考えています。

さて、いよいよ本年から京都議定書の第一約束期間が開始されました。国は、約束した温室効果ガス排出量削減の達成に向けて森林吸収源対策を加速化していく対策を講じています。木材業界は木材利用推進などの役割発揮が期待されています。これまでも増して「木づかい運動」への参加、人々の生活、住空間、公共施設等への木材利用の促進活動、提案などに取組んでいくことが重要と考えています。皆様方の、それぞれの地域実情・事業展開の特色を最大限に活かした取組強化をお願いする

次第であります。これらの取組みに当たって重要なことは、業界自らの体質改善、構造改革の取組みであります。すなわちマーケット、消費者・需要者を重視して、品質性能の確かなJAS製品・乾燥材製品の供給、そして低コストで顧客満足度の高い商品の開発提供や生活空間への木材利用の提案などに取組んでいくことが重要と考えています。木材需給構造も、木材輸入環境の変化とともに業界、需要者・消費者の国産材へのシフトが増してきています。

全木連としましては、消費者・需要者のニーズ、木材需給構造の変化に的確に対応して、業界の明日への展望を切り拓くための生産・加工・流通の構造改革や木材需要拡大対策などの促進に努力していきたいと考えています。

合法木材の供給体制整備の取組みにつきましても、認定事業者数は七千を超えるなど着実な実績を上げてきています。本年の七月に開催される「洞爺湖サミット」にメッセージを発信するため、違法伐採対策国際セミナー」を六月末に開催することにしています。今後とも、合法木材の信頼性確保の取組み強化並びに行政機関等の合法木材使用の実需拡大に向けた働きかけなど一層努力していく考えであります。

また、JAS関係の事業につきましても、平成二十一年二月末をもちって全面的に「有限責任中間法人全国木材検査・研究協会」が行うこととなります。全木連としても、その円滑な移行に向けて指導・協力を図って参りたいと考えています。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

木退共事業につきましても依然として加入者の減少が続ぎ、厳しい運営が続いています。加入者の獲得等共済制度の利用拡大に皆様のご協力をお願いいたします。なお、退職金共済経理につきましても、これまで同様に健全性を保っておりますことをご報告いたします。

ところで、私事ではありますが、二期四年にわたる全木連会長職を、お許しを得て、このたび降板させて頂こうと思っております。後ほど役員改選後に改めて挨拶を申し上げますが、皆様方のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

本日の会議は、平成十九年度の仕事報告及びその収支決算と役員改選が主たる議題であります。限られた時間ではあります、十分なるご審議をお願いいたします。

最後に、春の叙勲の栄に浴された木材業界の方々に於かれましては、日頃のご精進とご努力の賜物と心からお喜び申し上げますとともに、今後一層のご活躍をご祈念申し上げます。

さらに、会員各位のご繁栄とお集まりの皆様のご健勝をご祈念申し上げます。冒頭のご挨拶と致します。有難うございました。

企業経営に安心を提供します

全木連グループの各種保障制度

おかげさまで30年

中型グループ

従業員のために 経営者のために	中型グループ	総合賠償補償制度	第三者への事故対策に	
	大型 L型	各総合保障プラン	木退共	従業員の退職金の準備に
	無配当型		積立終身	経営者の退職金などの準備に

ケガ・病氣入院などの備えに

全国木材協同組合連合会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215 (代)

景況調査 = 全木協

20年4月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕 モニター数150 回答数108 回収率72%

当月の状況			
販売量	増加30% (33)	変わらず40% (43)	減少30% (32)
仕入量	増加27% (29)	変わらず40% (43)	減少33% (36)
販売価格	上昇8% (9)	変わらず80% (86)	下降12% (13)
仕入価格	上昇20% (22)	変わらず74% (80)	下降6% (6)

来月の見通し			
販売量	増加31% (34)	変わらず48% (51)	減少21% (23)
仕入量	増加25% (27)	変わらず48% (52)	減少27% (29)
販売価格	上昇11% (12)	変わらず84% (91)	下降5% (5)
仕入価格	上昇17% (18)	変わらず79% (86)	下降4% (4)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	18% (17)	76% (72)	6% (6)
南洋材	22% (20)	71% (63)	7% (6)
北洋材	41% (36)	54% (48)	5% (4)
国産材	8% (8)	80% (78)	12% (12)
建材	25% (22)	62% (55)	13% (11)

乾燥材取引の頻度	増加 19% (19)	変わらず 78% (80)	減少 3% (3)
----------	----------------	------------------	--------------

〔製造部門〕 モニター数149 回答数117 回収率79%

当月の状況			
販売量	増加34% (40)	変わらず40% (46)	減少26% (30)
仕入量	増加28% (33)	変わらず44% (51)	減少28% (32)
販売価格	上昇4% (5)	変わらず76% (88)	下降20% (23)
仕入価格	上昇17% (19)	変わらず63% (73)	下降20% (23)

来月の見通し			
販売量	増加36% (42)	変わらず46% (53)	減少18% (21)
仕入量	増加21% (24)	変わらず59% (69)	減少20% (23)
販売価格	上昇5% (6)	変わらず85% (98)	下降10% (12)
仕入価格	上昇18% (21)	変わらず75% (85)	下降7% (8)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	15% (8)	81% (44)	4% (2)
南洋材	22% (9)	71% (28)	7% (3)
北洋材	47% (22)	47% (22)	6% (3)
国産材	6% (6)	70% (68)	24% (24)

プレカットの動向			
受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	80% (17)	10% (2)	10% (2)



おめでとー
いねーます

今年春の叙勲を一面に掲載された六名の方々が受けられた。うち、全木連役員では庄司橙太郎前会長、上地宏保副会長、樋口浩良四国支部長の三名が受賞された。

勲章の伝達式が、五月九日に農林水産省で執り行われた。上の写真は、そのときの様子。それぞれ奥様同伴で、右から樋口支部長、庄司前会長、上地副会長。叙勲にあたって、庄司前会長が次のような感想を語った。

【庄司前会長の談話】
このたびは身に余る光栄に浴し、感慨ひとしおです。このたびの受章は、私個人が頂いたというよりは、全木連の会長として微力ながら木材業界の発展のお手伝いをし、てまいりました事が評価されたものでありますので、木材業界全体が賜ったものと思っております。この間の皆様のご高配ご協力に感謝しております。

業界は多難な時期にあります。今後も業界発展のお手伝いをさせていただきます。

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

お役に立ちます
林業・木材産業信用保証

私どもは昭和38年創立以来、林業・木材産業を専門に信用保証を行う公的機関です

- (対象業種)
- 造林・育林
- 素材生産
- 木材・木製品製造
- 薪炭生産
- 林業種苗生産
- きのこ生産
- 木材卸売



独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コービル11階)
TEL 03 3294 5581 FAX 03 3294 5595 URL www.affcf.com